

第7回
朝霞市都市計画マスタープラン府内検討委員会
議事録

令和7年6月24日

都市建設部 まちづくり推進課

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	朝霞市都市計画マスタープラン府内検討委員会	
開催日時	令和7年6月24日（火）	午前10時00分から 午前11時30分まで
開催場所	朝霞市役所 本館5階 502会議室	
出席者及び欠席者 の職・氏名	別紙のとおり	
議題	別紙のとおり	
会議資料	別紙のとおり	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こし た場合の当該電磁的記録の保存期 間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 委員全員による確認		
傍聴者の数	なし	
その他の必要事項	なし	

第6回朝霞市都市計画マスタープラン府内検討委員会

令和7年6月24日（火）

午前10時00分から

午前11時30分まで

朝霞市役所 本館5階 502会議室

1 開 会

2 挨 捶

3 議 題

都市計画マスタープランの策定について

4 閉 会

出席委員（14人）

委 員 長	都市建設部長	松 岡 里 奈
副 委 員 長	都市建設部審議監兼都市建設部次長兼まちづくり推進課長	村 沢 敏 美
委 員 員	市長公室市長公室次長兼政策企画課長	櫻 井 正 樹
委 員 員	総務部総務部次長兼財政課長	金 子 智 之
委 員 員	市民環境部市民環境部次長兼地域づくり支援課長	中 川 隆
委 員 員	都市建設部都市建設部次長兼開発建築課長	塩 味 基
委 員 員	都市建設部みどり公園課長	松 下 俊 一
委 員 員	都市建設部道路整備課長	深 澤 朋 和
委 員 員	上下水道部上下水道部次長兼下水道施設課長	久保田 哲 人
委 員 員	生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ科長	長 谷 修
委 員 員	こども・健康部次長保育課長	玄 順 正 明
委 員 員	副審議監兼危機管理室長	小野澤 誠
委 員 員	学校教育部次長兼教育総務課長	関 口 豊 樹
委 員 員	福祉部次長兼長寿はつらつ課長	並 木 智 彦

学識経験者（1人）

学識経験者 麗澤大学准教授

須永大介

事務局（7人）

事務局	都市建設部まちづくり推進課主幹兼課長補佐	持田宏行
事務局	都市建設部まちづくり推進課都市計画係長	村岡拓
事務局	都市建設部まちづくり推進課都市計画係主事	宮下洋子
事務局	株国際開発コンサルタンツ	松下佳広
事務局	株国際開発コンサルタンツ	矢嶋聰
事務局	株国際開発コンサルタンツ	万毅
事務局	株国際開発コンサルタンツ	伊藤彩夏

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

■議題「都市計画マスターplanの策定について」

○櫻井委員

方針図の提案について、「公園の整備」として示されているエリアが地権者の倉庫であり、ハレーションが生じる可能性がある。地域別サロンで倉庫を無くすという意見がなかったのであれば、示す箇所を修正したほうが良い。

○事務局

ご意見を踏まえ、修正をする。

○深澤委員

方針図の提案について、大企業との連携・協働はどのように進めることを想定しているか。

○事務局

地域別サロンの結果報告として示している内容を都市計画マスターplanに掲載する場合は、表現を検討する必要がある。連携・協働をする場合は、声をかけながら進めたいと思う。

○塩見委員

取組の提案について、「自治会加入者が減り『自助』の働きが弱まっている」との記載があるが、「自助」ではなく「共助」ではないか。

○事務局

ご意見を踏まえ、「共助」に修正する。

○塩味委員

重点課題2の「私たちからの提案」について、重点課題から離れた内容が提案されており、計画を策定するための積み上げの資料としては意味がないように感じるがいかがか。

○事務局

資料に間違いがあったため、資料を精査させていただく。

○久保田委員

地域別サロンで出た意見が、必ずしも計画に反映されることはないとと思うが、参加者にはどのように伝えたのか。また、他部署との連携は想定しているのか。

○事務局

地域別サロンは、都市計画マスターplanの内容を地域の方に一緒に考えていただくことに加え、地域の方々自身が何ができるのかを考えていただくことを目的にして実施した。いただいた意見がそ

のまま載ることはないということも伝えている。

○(株)国際開発コンサルタンツ

地域別サロンでいただいた意見がどのように計画に繋がっているのかが分かるように示したいしたいと考えている。

○塩味委員

水害対策に関する議論があまりされていないように思える。構想の土台になるものは、地域別サロンでの意見の有無に関わらず、掲載する必要があるのではないか。まとめ方の確認をしたい。

○(株)国際開発コンサルタンツ

重点課題について、サロンの第1・2回で検討してきたが、第3回はテーマを絞って議論していただいた。資料3では、地域別サロンで出た意見やアンケート等を整理してまとめている。

○塩味委員

将来像について、個別の意見が強く反映されているイメージがあるので、全体の課題を踏まえて考えたほうが良い。

○金子委員

将来像の「戻ってきたいまち」という表現は、人が市外に流れていることを認めたうえでの表現か。

○(株)国際開発コンサルタンツ

地域別サロンにて、内間木地域で育った子どもが地域を出てしまうという意見あり、一度、地域を出ていった人が戻ってくるまちとすることを意図して記載した。

○金子委員

表現を再検討したほうがよいと思う。

○玄順委員

南部地域の特徴を表すキーワードとして、「NY. Paris. Asaka」が記載されているが、これは一人の意見に思える。それを地域のキーワードとして載せるのはいかがなものか。

○久保田委員

「乗降客」は地域の特徴を表すキーワードではないと思う。地域の特徴を表すキーワードとしてサロンの意見をそのまま反映するのではなく、市で調整する必要があると思う。

○事務局

ご意見を踏まえ、表現を見直す。

○関口委員

地域づくりの基本方針について、歴史に関することが記載できると良い。

○久保田委員

p14の「⑤広域型都市機能」に記載されている「個人店やチェーン店でも良く、新しい建物は不要」とは、どのようなことか。

○事務局

新しい公共施設を建設するのではなく、既存の建物を活用して集まれる場所がほしいことを意図して記載した。

○久保田委員

カッコ内の文言はいらないと思う。

○櫻井委員

「⑤市民サービスを支える広域型都市機能の充実」について、「誘導施設の誘導」は「～に基づく誘導施設の誘導」と記載したほうがよい。他の表現も精査したほうがよい。

○玄順委員

将来像について、「インクルーシブなまち」がどのようなまちなのか、想像ができない。

○事務局

子どもから高齢者を包含したまちづくりを意図して表現した。

○(株)国際開発コンサルタンツ

インクルーシブを別の言葉に置き換えることを検討したい。

○関口委員

将来像は、地域別サロンでのワークを踏まえての将来像するのか、または市としての将来像とするのか。

○事務局

現行の都市計画マスターplanは、地域別サロンで将来像を考えているが、改定版では地域別サロンの意見を参考にして事務局が将来像を精査することを考えている。

○関口委員

将来像をもとに施策が出てくるということか。

○事務局

その通りである。

○関口委員

将来像に記載されていることは、地域限定だけでなく、市全体としての方針になると理解して良いか。

○事務局

全体構想で朝霞市全体の方針・取組を記載する一方、地域別構想では地域ごとの方針・取組を記載する。

○関口委員

「緑・歴史」など、将来像の設定が大きいので、結果的には地域全体に関連することになるのではないか。

○小野澤委員

一部の人の意見として設定した「まちづくりの5カ条」がかなり重要な要素のように見える。「改善したいところ」に記載されている内容が「将来像」に繋がっていないことに違和感がある。例えば、南部地域の課題の1つに「延焼リスクの高い住宅密集地区がある」との記載があるが、将来像は「あさかの中心としてにぎわいを牽引しつつ緑や歴史、地形などの地域資源を活かした楽しいまち」となっている。

○塩味委員

「安心・安全」と「安全・安心」を統一したほうが良い。

○事務局

ご意見を踏まえ、資料を修正する。

○櫻井委員

地域によって掲載内容が異なるが、どのような意図でそうしているのか。地域別サロンで出された意見を、計画にどのように反映・掲載するのかをお伺いしたい。

○事務局

この後の議論では、東部地域と南部地域の2地域について、地域づくりの方針の議論をする想定であるため、資料の構成が異なっている。

○(株)国際開発コンサルタント

地域別サロンの内容は、今回の資料をブラッシュアップしたものをコラムとして計画に載せる想定でいる。

○櫻井委員

あらかじめ、資料の説明しておけば誤解を招くことが少ないとと思う。

○事務局

八潮市の件を踏まえ、特だしをして記載した。インフラの強化という表現にするのはいかがか。

○関口委員

「基地跡地」に関する記載が散見されるが、地域別サロンの意見として掲載するのか、実際の取組として掲載するのか。

○事務局

基地跡地の活用について考えていきたいが、基地跡地を開放するような内容に読み取らないように都市計画マスタープランでの表現を気を付けたい。

○小野澤委員

地域の概要→地域に関する評価→地域の特徴を表すキーワード→まちづくりの5ヵ条→将来像→地域づくりの基本方針のように繋がる認識で合っているか。そうだとすると、言葉の関係性が見えない。キーワードを見直す必要があるのではないか。

○(株)国際開発コンサルタンツ

課題とサロンの結果の両方を踏まえて地域づくりの将来像を設定しており、「地域づくりの方針」は、将来像を実現するためのものとして掲載している。将来像や取組を考える際には、「まちづくりの5ヵ条」を切り離して考えている。

○櫻井委員

1ページには「まちづくりの5ヵ条等の議論を踏まえて設定」と記載しており、先ほどの発言と齟齬が生じている。

○須永委員

都計審会長として本日の議論を踏まえたものを2週間ほどでブラッシュアップし、都市計画審議会に出せるのか。都市計画審議会では、「何を言っているのか」「何を伝えたいのか」が分からぬといふようなシビアな意見が出されると思う。

アドバイザーとして資料の情報量が多く、何を説明したいのかが分かりづらかった、情報にメリハリがないことが分かりづらさの要因だと思う。